

読み句の2次選定について

1. 選定の基本方針 ※第3回会議で確認

- 郷土かるたの制作目的及び作品規定に合致した作品の中から読み札の音及び題材の全体調整により採用作品を選定する。[募集要項の記載]
- 選定は、原則、学校名・氏名等を伏して実施する。作者の所属（町内小中学生、一般）についての配慮、バランス調整は行わない。ただし、採用は一人1作品を原則とするため、2次選定の対象になった同一作者の作品には符号をつける。

2. 2次選定の対象作品

区分	作品数	備考
1次選定通過（町内小中学生）作品	747句	
一般応募作品（事務局による事前選別後）	362句	7/20以降の町内小中学生分を含む
合 計（2次選定対象作品）	1,109句	

3. 2次選定の方法について ※前回会議確認事項を一部見直し（_____箇所）

（1）第1段階 《第4回会議（8/2）》

- ① 各委員により、音ごとの上位5作品を選定（順位付け）する。
 ⇒1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点
※同一音で同一題材の句を選定（順位付け）することも可。

【選定の基準】

■句としての出来栄

- ア 読みやすさ（5・7・5調を基本。字余り、字足らず可。）
- イ わかりやすさ（題材（テーマ）、内容が明白。）
- ウ 親しみやすさ（子供にとって親しみやすい内容、表現。）

■使用題材の適正・重要度、全体バランス

- ・郷土かるたとしての使用題材の適正と重要度（各委員の視点）
- ・同一題材（異なる音）間の句の出来栄（優劣）、46音全体での題材のバランス…参考資料『選定対象作品「題材別一覧」』

★8/8（月）正午までに事務局に提出。

（2）第2段階 《第5回会議（8/9）、第6回会議（8/30）》

- ① 全委員の選定（採点）結果を集計し、音ごとに上位5作品程度を最終候補作品とする。
- ② また、採点結果の上位15作品（音）程度を仮採用作品として決定し、これをベースに、題材のバランス等を考慮しながらその他の音の選定を行っていく。※役札（から札含む）も考慮。
- ③ すべての仮採用作品の決定後、題材の重複や句の類似の有無等の最終確認を行い、役札を含めて最終決定を行う。